

学校法人滋慶学園 東京ベルエポック美容専門学校
2023年度 学校関係者評価委員会 議事録

作成者（書記）：中嶋義彦

日時 2023年5月18日（木）10：00～12：00

会場 東京ベルエポック美容専門学校
東京都江戸川区西葛西6-24-16 TEL03-5659-9090

出席者 学校関係者評価委員会 出席者

区分	氏名	所属	役職
学校関係者	浅川 潤一	千葉商科大学附属高等学校	学校長
業界関係者	高良 成児	株式会社クルー	顧問
保護者代表	山下 久英 (欠席)	美容師科1年生在校生の保護者	
地域関係者	空田 真之 (欠席)	江戸川区葛西・西葛西メトロセンター会	代表取締役
卒業生代表	森光 和美 (欠席)	株式会社 トニーアンドガイ ジャパン	スタイリスト
業界関係者	野田 かをり (欠席)	パルファン・クリスチャン・ディオール・ジャポン株式会社	営業本部 リテール ヒューマン リソース マネージャー

【学園・学校関係者】

古島 暉大 学校法人滋慶学園 常務理事
川戸 功一 東京ベルエポック美容専門学校 学校長
三井 真子 東京ベルエポック美容専門学校 運営本部長
中村 聖之 東京ベルエポック美容専門学校 事務局長、教務部長
武田 郁乃 東京ベルエポック美容専門学校 美容師学部長
岩本 理絵 東京ベルエポック美容専門学校 美容師学部
仁藤 都 東京ベルエポック美容専門学校 ヘアメイク・メイクアップ学部
太田 亜貴子 東京ベルエポック美容専門学校 ヘアメイク・メイクアップ学部
毛利 農材 東京ベルエポック美容専門学校 広報センター長
関口 幸江 東京ベルエポック美容専門学校 学生支援センター
中嶋 義彦 東京ベルエポック美容専門学校 学生支援センター

議題 <会議の概要> (進行：武田)

1. 開式の挨拶
学校長 川戸 功一
2. 滋慶学園ベルエポック美容グループについて

3. 評価委員のご紹介並びに学校側出席者の紹介
4. 本委員会の趣旨説明
5. 2022年度の自己評価項目と評価内容の説明
6. 2022年度学事報告
7. 2022年度自己評価内容報告 抜粋
8. 質疑応答・意見交換
9. 連絡事項
10. 開式の挨拶

議事

1、開会の挨拶（学校長 川戸）

皆さんおはようございます。

神田の神保町に大きな書店で三省堂書店があります。また、出版社三省堂をご存じの方も多いことでしょう。この名前の由来は論語「学而篇」の一節。曾子が言った。「わたしは毎日何度も自分の行動を反省する。他人の相談にのってやった際、真心をこめて接したかどうか。先生から習ったことで、十分納得していないことを受け売りで教えたりはしなかったか。」私としては、最後の「受け売りで教えたりはしなかったか」の箇所は耳が痛い。

さて本日は、東京ベルエポック美容専門学校が自ら学校運営や経営の改善を図るための大事な機会と捉えています。学校評価委員の皆様の忌憚なきご意見を賜りますようお願いいたします。本日は宜しくお願い致します。

2、滋慶学園ベルエポック美容グループについて（運営本部長 三井）

滋慶学園は現在、全国に85校あります。美容の学校は、東京校、原宿校、札幌校、福岡校そして新たに2025年4月に横浜ベルエポックが誕生します。滋慶学園として初の神奈川に進出します。美表分野を皮切りに今後、スポーツ分野、医療分野などもスタートできたらと考えております。

今日は、東京ベルエポック美容専門学校の2022年度の学事報告に対して、委員の皆様の忌憚のないご意見を今後の学校運営またはすぐにカリキュラムに反映させていく。信頼される学校づくりをしていく。どうぞよろしく願います。

3. 評価委員のご紹介並びに学校側出席者の紹介

高良成児様、一般社団法人アイブローライセンス協会の顧問。42年間化粧品会社勤務後、美容学校の非常勤講師も担当。

浅川潤一様、千葉商科大学附属高等学校の学校長。

職員自己紹介

中村、中嶋、関口、仁藤、太田、毛利、武田、岩本

4、本委員会の趣旨説明（事務局長 中村）

職業実践専門課程認定とは

【目的】

- ・高等教育における職業実践的な教育に特化した新たな枠組みづくりとして創設。
- ・専門学校における実践的な職業教育の質保証・向上
- ・実質的かつ継続的に、企業・関係施設・関連団体等と密接に連携して、最新の実務の知識・技術・技能を修得できる実践的な職業教育に取り組む学科であることを文部科学大臣が証するもの。

各学校が自らの教育活動等の成果や取組を不断に検証することにより、

- (1) 各学校が、自らの教育活動その他の学校運営について、組織的・継続的な改善を図ること。
- (2) 学校評価の実施・結果の公表により、適切に説明責任を果たすとともに保護者・地域住民等から理解と参画を得て、その連携協力による学校づくりを進めること。
- (3) 設置者が、学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の改善措置を講じることにより、教育水準の保証・向上を図ること。

学校紹介動画

5、2022年度の自己評価項目と評価内容の説明（事務局長 中村）

評価の実施方法

- (1) 各学校の教職員が行う評価 【自己評価】
- (2) 保護者、地域住民等の学校関係者などにより構成された評価委員会が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価【学校関係者評価】
- (3) 学校と直接関係を有しない専門家等による客観的な評価 【第三評価】

●評価10項目

教育理念・目的・育成人材像、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援教育環境、学生の募集と受け入れ、財務、法令等の遵守、社会貢献・地域貢献

●評価をいただいた結果、職業実践専門課程の承認

文部科学省告示第133号平成25年8月30日

目的：職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的として専攻分野における実務に関する知識、技術について組織的な教育を行うものを文部科学大臣が認定

6、2022年度学事報告（事務局長 中村他）

(1) 全体報告

東京ベルエポック美容専門学校は美容に関する高い専門技術、知識、情報力、感性、創造力、コミュニケーション力を持った「美のコーディネーター」を育成します。

本校は最新の美容・ファッションを一人ひとりに提供する学校として業界と提携した最新の教育プログラムを展開するとともにセルフプロデュース力を備えた美容のプロを養成する教育機関として専門教育と現場実習、産学連携プログラムを強化している。

(2) 教育実績

在籍者数 472名

退学者 43名 9.1% (5.4%)

進級者 217名 82.5% (91.3%)

就職率 186名 94.9% (93.4%) () は昨年
美容師国家試験合格率

【美容師科】

受験者 85名 合格者 76名

89.4% (昨年 95.87%) 実技不合格者 2名

筆記不合格者 7名

(3) 広報実績

2021年度 4月 入学生 230名

2022年度 4月 入学者 260名

2023年度 4月 入学者 258名

最新の美容・ファッションを一人ひとりに提供するをモットーに

その実践的な教育コンテンツの TOP サロンゼミやアシスタントプログラムなどを魅せることで特に最新の美容を学べる学校という認識を持ってもらうことを戦略として広報活動を行った。

出願数 (今年 267名、昨年 270名)

入学目標/定員に 2名届かなかった。

学科によって定員充足率が違うため、学校のコンセプトと顧客のニーズを再度強化する必要がある。

(4) 収益実績

第7期5か年計画 安定させる

昨年より学生数も安定し、中期的な財政基盤を固める計画を進めてきた。本校でもグループとして5か年計画で目指す収益額・収益率で着地をすることができた。

今年度はまだ新型コロナウイルスによる影響も大きく影響したが、広報・教育・就に関してそれぞれが新型コロナ対策が講じ、年度の運営を圧迫することなく計画的運営することが出来た。今後も学生への教育の質保証・安全を第一に考えた運営を心がけていく。

7、2022年度自己評価内容報告 抜粋

(1) 教育理念・目的・育成人材像 中村

建学の理念(実学教育、人間教育、国際教育)・4つの信頼(学生・保護者、産業界、高校、地域)を軸に職業人教育を行っている。実践的な授業を通して実学教育、人間教育、国際教育を実施している。また最新の美容教育をコンセプトに学生、保護者、産業界からの信頼を獲得する運営。学科養成目的を設定し卒業した3年後の目標、卒業した時の目標も明確にして学校運営をしている。

教育課程編成委員会で頂いた業界からの意見やアドバイスをカリキュラムに反映しより業界に即した人材の育成に力を入れている。議事録の作成をしている。

(2) 学校運営 中村

単年ごとに作成している事業計画をもとに運営計画を定めており、中身に関しては五カ年を見据えて収益、中期ビジョンを定めて運営をしている。

職員一人ひとりの目標(チーム目標、個人目標)を設定しており、各部署の会議や学校全体の会議の中で各担当を通じて成長の機会を設け育成できるよう心掛けている。

また在校生や卒業生を管理する情報システムを活用し、学校運営に生かしている。

目的管理制度、評価対象者の目標・評価を実施している。

意思決定システムにより組織の運営、仕組みとルールに沿って業務決済をしている。委員会プロジェクトの設定している。

コミュニケーション、会議、委員会、情報システム、時間割作成、履修登録、等 WE で確認できるようにしている。学生ポータルサイトで求人検索ができる。就職システムでは、求人一覧、卒業生状況、在校生状況、就職活動状況を管理している。情報の一元化ができる。

(3) 教育活動 武田

業界動向「最新の美容・ファッションを一人ひとりに」をもとに、今、そして未来を見据えて調査をして養成目的、教育目標を見直し、カリキュラムの変更を行っている。

教育活動に反映させる、求められている人材像の調査、教育カリキュラムに反映させる教育プログラムをキャリアロードマップに照らし合わせる。

職業像、目標設定、ステップ、評価、試験、講師からフィードバック、授業アンケート、教育部会、教育の結果を学会発表等もしている。

高校から専門学校にあがる過程で、様々な壁があるため滋慶学園としてキャリアロードマップを活用して、入学前教育から卒業後支援まで一人ひとりのフォローを行っている。

授業に関しては、各教科において授業アンケートを実施し、集計したデータをもとに講師の先生へフィードバックを行い、授業の質の向上を行っている。

それぞれの科目ごとにシラバスを作成し、事前に計画を立てたうえで、授業を行っている教員に向けた研修を行っている。

(4) 学修成果 中村

月別で内定シミュレーション(目標)をたてて、時期に応じた学生指導を心掛け、希望就職者においては卒業式までに100%内定を頂いている。過去の採用試験報告書から試験内容を事前把握できるシステムを構築できている。

また学生はWEBサイトにより学校にきた求人を見る事が出来る。

卒業後進路支援システムにより状況の確認ができる。

(5) 学生支援 関口

学生支援の動画再生。学生をサポートする部署として担任、キャリアセンター、学生サービスセンター、留学生支援、トータルサポートセンター、学生寮、慶生会クリニックと連携している。

退学率低減のため、退学した学生の傾向を調査し、総括をする取り組みをしている。

退学者傾向の情報をもとに学園内のカウンセラーからも意見を頂いている。

今後に関しては、ICT教育などを活用したサポートをおこなうことで退学率低減を目指す。

課外活動では、サークル活動という位置づけで合同ダンスサークルやフットサルサークル&女子フットサル活動、ラテアートサークル、Disney研究会を行っている。また地方の在校生が多いので、一人暮らしや学生寮のサポートを行っている。

(6) 教育環境 中村

実践教育を行うため、サロン実習室、ブライダル実習室、ファッション実習室、フォトスタジオを整え、職業感をもって授業を行うことが出来ている。

ファッション実習室では、販売シミュレーションもできる。修繕計画、予算運営、安全確保のための危機管理マニュアルの作成、防災訓練の実施をしている。

学外実習・インターンシップ・海外研修について

2022年度の国際教育実績

建学の理念に基づき、他国の歴史・文化・伝統などを知り、国際的な感性を養うと同時に、自国のことをより認識し、国際的な視野を持った職業人を養成する。

- ① 最新の情報と技術をもとに新たな課題を発見し自己の将来像を確立する。
- ② 国際教育の一環として外国話でのコミュニケーションを取る。
- ③ 集団生活による規則を守り、協調性と団結力を養う。
- ④ 海外の文化に触れ、国際的な感性を身につける。

また産学連携実習を行う事で、業界と直結した教育を行うことが出来ている。

(7) 学生募集と受け入れ 毛利

高等学校への報告。在校生の様子や卒業生の動向などの情報を訪問した際に報告を行うことで安心して送り出して頂けるよう心掛けている。コロナ禍でのオンラインにおけるの広報活動も実施している。

2022年度は目標260名に対して258名入学した、年間計画を立てての2年間募集している。ホームページ、パンフレット、募集要項を作成し入学選考と面接試験内容、学費・諸費用等をわかりやすく掲載している。

(8) 財務 関口

事業計画をもとに5カ年の収支予算を考えた上で、さらに良い環境を整えられるようにしている。財務報告書、監査報告書に関しては学校ホームページにて情報公開を行って健全な運営を行っている。

(9) 法令等の遵守 中嶋

専修学校設置基準に基づいて毎年チェックを行っている。

個人情報保護に関しても台帳を基に第三者機関にも入って頂き管理している。

職員講師学生共にITリテラシーの講座を行った上でテストを行い、全問正解するまで実施している。自己点検自己評価を学校関係者評価委員より評価を頂き改善を図る。

(10) 社会貢献 中嶋

学校の教育資源を活用して社会貢献として、全学生による地域清掃実施の。

在校生が学内にて、地域の方々に美容の提供することやボランティア活動などをしてきたが、昨年度はコロナの影響もあり難しかったが、今年度は積極的に行っていきたい。

8、質疑応答・意見交換

・浅川学校長

在籍472名からの退学者の理由を教えてください。

・中村、3学科中、今年度は美容師科の1年生から多く出てしまった。精神面で不安定からくるクラス内人間関係の問題が多かった。合理的配慮者に対してのカウンセラー相談を実施して

いる。

・武田、退学者の問題発生時期は、5・6月が多くコロナ過による負担が多かった
また、今年度はプレカレッジ欠席者から多く発生している傾向がある。

30人クラスでも4月からクラスに入れない学生もいた。

保護者と高等学校の先生との連携が必要である。

・浅川、コロナ過の影響、集団に溶け込めない生徒が、5月以降増えがちになった、
入学早々溶け込めない生徒もいた。担任面談の実施。情報の共有。保護者会の開催。

事前説明、説明会の参加していない生徒、保護者から多く出てします。

・浅川、当校も実学を教育の理念としている。ペーパーレス化の進めている具体的な方法を教
えてください。

・毛利、ペーパーレス化、広報においてパンフレット作製をしたが、スマートフォンで見られ
るデジタルパンフも作成した。募集要項、SNS掲載PDFでの情報収集などもできるようにし
た。

・武田、教育においては、I-Padの活用による座学でのペーパーレスをしている。また、
TEAMS活用での動画収録をして復習できる資料などでスキルの向上をしている。
学生サービスでは奨学金のサポート、今後保護者ページの作成をしていく。

・高良、質問ではありませんが、ちゃんとした学校だなと感心しました。

企業においても、退学者が1割 全体の10%

話もしない。しばらくはコミュニケーションがとられずに辞めていく新人がいる。

美容学校での100%就職、ならば娘息子を預けたくなる。

先生方に対しての評価ですが、その後の改善点など外部の先生は受け入れますか。

・武田、講師授業アンケートからの改善なので、あまり悪評はない。

先生方も努力を重ね改善している。前向きに聞いてくれる先生が多い。人間的な評価はありま
せん。

・高良、昨日まで東京ビックサイトでビューティワールドジャパンに3日間参加していた。業界
は元気であり大盛況でした。去年の倍以上の来場者だった。

アイブローブースにいたが、確実にまつエク・まつ毛パーマのブーム来ている。しかし、まだ
まだ難しい問題はある。問題解決には、行政機関の活動が必要である。

30分ステージがあった。まゆもヘアの一部になりつつあるので、ヘアサロンの方々も勉強が
必要になる。メンズアイブローを人気が出てきている。まゆカット500円。

まつ毛エクステンションは、本校も検証中である。

また、国家試験に出るか出ないかも注目されている。

2年前から検討されている。

9、閉会挨拶（事務局長 中村）

本日はご多忙の中誠に有難うございました。

今後のスケジュールについてですが、「評価結果及び改善方策シート」をご返送して頂き、今
年度の事業改善ならびに次年度の事業計画の礎とさせていただきます。

—以上—